



製品安全データシート

製品名: Anti-Seize N-7000

初版 平成 12 年 10 月 4 日

改訂 平成 22 年 12 月 29 日

管理番号:153754-3

Product Safety & Regulatory Affairs

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード: 153754
製品名: **Anti-Seize N-7000**
アンチシーズ N-7000
会社名: ヘンケルジャパン株式会社
住所: 東京都品川区東品川 2-2-8 スフィアタワー天王洲
電話番号: 045-758-1820 (ヘンケル技術センター コールセンター)
ファックス番号: 045-758-1826 (ヘンケル技術センター コールセンター)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

皮膚腐食性/刺激性	区分 1
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分 1
標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分 1(呼吸器系) 区分 2(全身毒性、消化器)
標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分 1(呼吸器系)
吸引力呼吸器有害性	区分 1

* 記載がないものは分類対象外または分類できない

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
発がんのおそれ
臓器(呼吸器系)の障害
臓器(全身毒性、消化器)の障害のおそれ
長期または反復暴露による臓器(呼吸器系)の障害
飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

使用上の注意

保護手袋および保護眼鏡 / 保護面を着用すること。
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。



製品安全データシート

製品名: Anti-Seize N-7000

初版 平成 12 年 10 月 4 日

改訂 平成 22 年 12 月 29 日

管理番号:153754-3

Product Safety & Regulatory Affairs

必要に応じて個人用保護具を使用すること。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーを吸入しないこと。

応急処置

(水がリスクを増大させる場合)火災の場合には、消火に粉末、炭酸ガス等の消火剤等を使用すること。

皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。/ 取り除くこと。皮膚を流水 / シャワーで洗うこと。

暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断 / 手当を受けること。

暴露した時、または、気分が悪い時は、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。吐かせない事

保管及び廃棄方法 涼しい所 / 換気の良い場所で保管すること。

施錠して保管すること

内容物/容器を地方自治体の規則にしたがって廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物: 混合物

用途 潤滑剤

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
ミネラルオイル*	40 ~ 50
グラファイト	10 ~ 20
アルミニウム	1 ~ 10
酸化カルシウム*	10 ~ 20
添加剤	1 ~ 10
2,6 - ジ - ターシャリ - ブチル - 4 - クレゾール	0.1 ~ 1

* 労働安全衛生法通知対象物質

4. 応急処置

皮膚に付着した場合:皮膚に付着した部分をせっけんで充分洗い、異常があれば医師の診断を受ける。

眼に入った場合: 流水で 15 分間以上洗眼し、異常があれば医師の診断を受ける。

吸入した場合: 新鮮な空気のある場所に移して安静にさせ、不快感や呼吸困難などの障害が起こった場合には、速やかに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合: 無理に吐き出させない。異常があれば医師の診断を受ける。

暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断 / 手当を受けること。

Anti-Seize N-7000



製品安全データシート

製品名: Anti-Seize N-7000

初版 平成 12 年 10 月 4 日

改訂 平成 22 年 12 月 29 日

管理番号:153754-3

Product Safety & Regulatory Affairs

5. 火災時の措置

消火方法: 粉末、炭酸ガス等の消火剤を火元に放射、散布するなどして消火する。

泡消火剤等を用いて空気を遮断する方法も有効である。

消火剤: 粉末、炭酸ガス、泡

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項: 屋内であれば換気を良くする。

作業の際には手袋、防護マスク、ゴーグル等を着用しガス等を吸入しないこと。

環境に対する注意事項: 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意すること。

封じ込め及び浄化の方法・機材: 危険でなければ漏れを止める。

漏出物を取り扱うときに用いるすべての設備は接地する。

二次災害の防止: すべての発火源を速やかに取り除く

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い: 保護具を着用し眼や皮膚に接触しないよう又、蒸気の吸入を避ける。

その他製品に明記の用途、注意事項を守ること。

保管: 直射日光を避けて冷暗所に保管

密閉した現容器で保管すること

8. 暴露防止及び保護措置

保護具: 呼吸保護具、保護衣 保護手袋(ゴム製)、安全眼鏡又は、ゴーグル。

局所排気装置等の適切な排気装置

9. 物理的及び化学的性質

外観: 灰色ペースト

燃焼又は爆発範囲: データ無し

臭い: 特異臭

蒸気圧: データ無し

pH: 該当しない

蒸気密度: データ無し

融点/凝固点: データ無し

比重: 1.1687

沸点: データ無し

溶解性: 水に不溶

引火点: 218

オクタノール/水分係数: データ無し

自然発火温度: データ無し

分解温度: データ無し

10. 安定性及び反応性

安定性: 通常の使用においては安定。

特定条件下で生じる危険な反応: データ無し。

Anti-Seize N-7000



製品安全データシート

製品名: Anti-Seize N-7000

初版 平成 12 年 10 月 4 日

改訂 平成 22 年 12 月 29 日

管理番号:153754-3

Product Safety & Regulatory Affairs

危険有害な分解生成物: 燃焼により CO、NOx、等有害ガスの発生

11. 有害性情報

製品としてのデータ無し

原料情報

急性毒性 - 経口: 含有成分のデータ

酸化カルシウム 区分 5

皮膚腐食性/刺激性: 含有成分のデータ

酸化カルシウム 区分 1C

眼に対する重篤な損傷/刺激性: 含有成分のデータ

酸化カルシウム 区分 1

標的臓器 / 全身毒性(単回暴露): 含有成分のデータ

酸化カルシウム 区分 1(呼吸器系)、区分 2(全身毒性、消化器)

標的臓器 / 全身毒性(反復暴露): 含有成分のデータ

酸化カルシウム 区分 1(呼吸器系)

吸引性呼吸器有害性

酸化カルシウム 区分 1

12. 環境影響情報

現時点でデータ無し

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 特別管理産業廃棄物として許可を受けた専門業者に委託する。

容器及び包装 地方自治体の定めるルールに従い、分別して廃棄を行う

14. 輸送上の注意

UN Number: 無し

IATA: 該当しない

IMO: 該当しない

荷役作業は丁寧慎重に行い、包装容器を破損、転倒しないように取扱う。取扱いに際しては、必ず保護具を着用して作業する。

そのほか、危険有害性の要約、取扱い及び保管上の注意、安全性及び反応性の項を参照するほか、関係法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法: 危険物に該当しない

労安法: 名称等を通知すべき有害物(酸化カルシウム、2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール)

Anti-Seize N-7000



製品安全データシート

製品名: Anti-Seize N-7000

初版 平成 12 年 10 月 4 日

改訂 平成 22 年 12 月 29 日

管理番号:153754-3

Product Safety & Regulatory Affairs

PRTR 法: 該当しない

毒劇物法: 該当しない

16. その他の情報

参考文献: 90225-2 314009

JIS Z 7250:2005

本 MSDS の内容に関するお問い合わせ:

ヘンケルジャパン株式会社

製品安全性及び規制業務担当

横浜市磯子区新磯子町 27-7

Tel: 045-758-1780

Fax: 045-758-1771

作成者 近藤 由紀子

本製品の技術的なお問い合わせ:

ヘンケルジャパン株式会社

技術サービスグループ

横浜市磯子区新磯子町 27-7

Tel: 045-758-1810

Fax: 045-758-1753

危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので取扱いには十分注意して下さい。この情報は、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。又、注意事項は通常の実用を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。